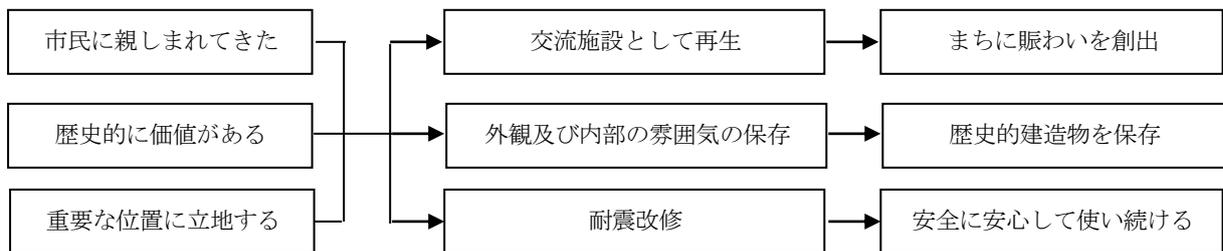


□社会教育会館テナントミックス施設整備事業について

1. これまでの経過

社会教育会館は、昭和9年に大津公会堂として建設されたものであり、その後も常に市民の交流の場として活用され、地域住民にとって身近な施設として親しまれてきた。また、交通や観光の点からも重要な位置に立地し、歴史的に価値の高い建築物であることから、その外観や雰囲気を保存しながら観光や地域住民が交流できる拠点として活用することが望まれている。このことから、平成15年に長等、中央、逢坂の3学区自治連合会連名で施設整備等について市長あて要望書が提出されたことを皮切りに、地域住民主体の保存・活用に向けた活動が続けられ、平成18年度には、元気回復委員会が利活用についての住民としての提案を報告書としてとりまとめた。

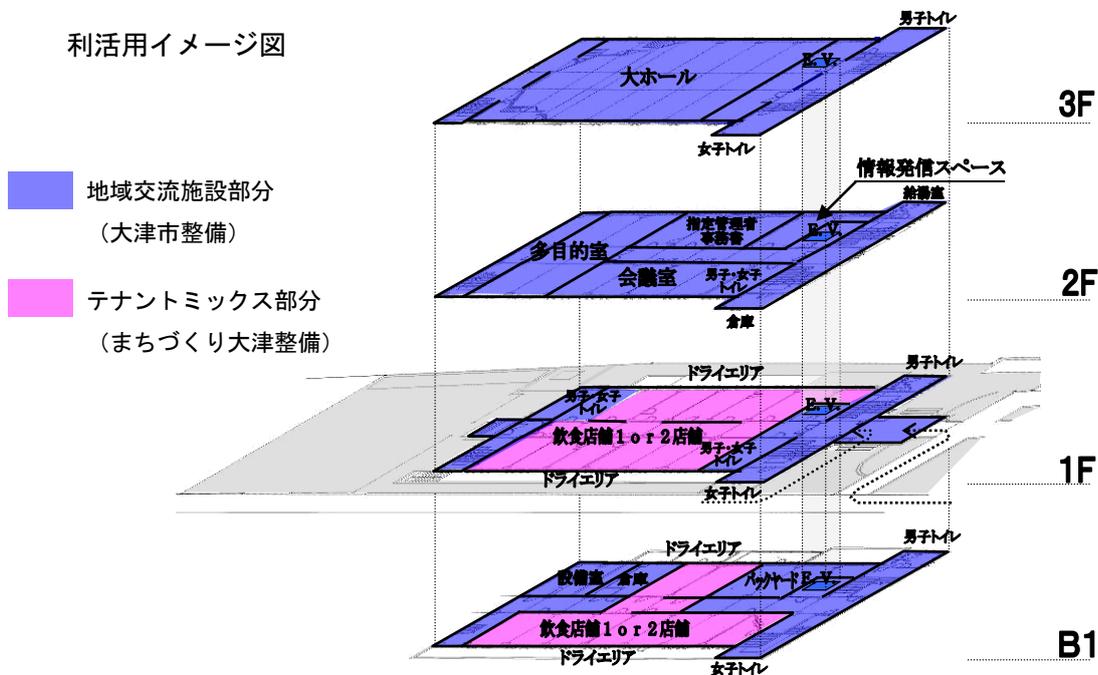
これを受け、大津市は、平成20年度に保存・利活用に向け実施設計を行っている。



2. 事業の概要

大津市では、民間活力を活用し、交流施設として一層の賑わい創出を図りたいと考えている。このため、1階及び地下1階には、まちづくり大津を事業主体として飲食店舗をテナントミックスすることを予定している。なお、本事業は大津市中心市街地活性化基本計画にも位置づけられている。

利活用イメージ図



3. 今後の予定

まちづくり大津は、当該テナントミックス施設整備を、平成21年度に戦略的中心市街地商業等活性化補助金(補助率1/2)を活用し行いたいと希望しており、スケジュールや事業計画について国と詳細な協議を行う予定である。